

**製品名: MECP2 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21133**

研究使用のみ

**概要**

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | 組換えウサギモノクローナル抗体                                  |
| 宿主     | うさぎ  |
| 応用     | WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP                           |
| 反応性    | ヒト、マウス、ラット                                       |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | IgG,Kappa  |
| クローン性  | モノクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | 0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。               |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質        |
| 精製     | プロテイン A  |

**応用**

|      |   |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200 |
| 分子量  | Calculated MW:52kD;Observed MW:75kD   |

**抗原情報**

|              |  |
|--------------|--|
| 遺伝子名         | MECP2  |
| 別名           | Methyl-CpG-binding protein 2;MeCp-2 protein;MeCp2; |
| 遺伝子 ID       | 4204.0   |
| SwissProt ID | P51608   |
| 免疫原          | -  |

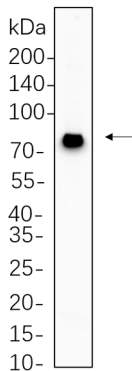
**背景**

細胞局在: 核。DNA メチル化は真核生物ゲノムの主要な修飾であり、哺乳類の発生において重要な役割を果たします。ヒトタンパク

質 MECP2、MBD1、MBD2、MBD3、および MBD4 は、それぞれにメチル CpG 結合ドメイン (MBD) が存在することで関連する核タンパク質ファミリーを構成します。これらのタンパク質は、MBD3 を除き、メチル化 DNA に特異的に結合することができます。MECP2、MBD1、および MBD2 は、メチル化された遺伝子プロモーターからの転写を抑制することもできます。他の MBD ファミリーメンバーとは対照的に、MECP2 は X 連鎖性であり、X 染色体不活性化を受けます。MECP2 は幹細胞には必須ではありませんが、胚発生には不可欠です。MECP2 遺伝子変異は、進行性神経発達障害であり、女性の精神遅滞の最も一般的な原因の一つであるレット症候群のほとんどの症例の原因です。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。

## 研究分野

## 画像データ



SH-SY5Y 細胞ライセートを 4~20% SDS-PAGE で分離し、膜を MECP2 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でブロッティングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。